社說

列國東洋艦隊の勢力

附浦潮斯德及び香港の近況

目下英、佛、露、獨、伊、米六强國の東洋に於ける派遣艦隊の勢力を視察するに日清戰爭前後の比較左の如し

	主戰艦	一等巡洋艦	二三等巡洋艦	砲艦	合計	噸數
英 (日清戰爭前)	一	一	七	九	一八	四一、七二〇
英 (現在)	一	四	六	一〇	二一	六一、二〇〇
佛 (前)	三	一	二	一二	四五	一〇、〇六四
佛 (現)	四	一	二	一一	四〇	一四、七五〇
露 (前)	一	五	四	一〇	二四	二四、一七四
露 (現)	一	三	八	一六	三三	五三、六五〇
獨 (前)	一	四	四	一一	一〇	九、七八〇
獨 (現)	一	二	二	五	一〇	二〇、四九〇
伊 (日清戰爭中三等巡洋艦三隻を增派したれども其後皆歸國せり)					一	一〇、五六〇
米 (前)	一	三	二	四	一〇	八、五六〇
米 (現)		二	一	六	一五	三〇〇

水雷艇は現在英は二隻(破壞艇)露は戰爭前十隻、現在二十三隻にして其他の諸國は未だ派遣せず

右の如く日清戰爭後に至り歐米の五國が其東洋派遣艦隊に一層の勢力を增加したるは戰爭以來形勢一變、東洋に於ける利害の關係一層適實を感ずるに至りしが爲めにして目下の有樣より考ふれば彼等は今後ますます其勢力を增すとも決して減ずるみとはなきのみか一旦事の必要に臨するときは其本國もしくは東洋附近の海域より艦艇を分遣して或る程度までは其勢力を高め得るみと勿論なり而して右の諸國中にて東洋の方面に最も適切の關係を有するものは英露の二國にして現在派遣の艦隊も他の諸國に比して著しき相違を見る其上にます〳〵進んで勢力を擴張せんとするの事實は最も注目す可き所のものなり先づ露國の計畫を見るに頻りに東洋艦隊の勢力を增して現在の數に上りたるにも拘はらず今回更らに主戰艦一隻、一等巡洋艦六隻、二等巡洋艦、水雷巡洋艦各二隻、砲艦六隻及び水雷艇七隻を增派するの企ありと云ふ此新勢力にして更らに加はるの日には露の東洋に於ける地位は更らに幾層の重きを成すみとならん又彼の義勇艦隊は常にオデッサ港と浦潮斯德樺太等との間を往復するものなるが露の政府にては過般來海軍の補助後援たらしむ可き目的を以て右義勇艦隊の擴張を謀り現に同艦隊は十四隻の汽船を有する其中の五隻は一萬噸以上、然かも速力輕快、代用巡洋艦として使用す可きものにして尙ほ同噸數のもの五隻を新造の計畫中なりと云ふ又その策源地たる浦潮斯德に於ては近來頻りに砲臺を增築して根據を擴張し從來の等級を進めて二等軍港と爲し特に新港は南外の取締を嚴重にして同地古來の習慣として自由に許したる逆徒等も其だ窮屈を感ずるに至りしと云ふ見の又昨年來オデッサより個船の度ごとに一千五百乃至二千の陸兵を輸送しつゝあるは實際の事實にして無論に據れば浦潮地方のみにても既に十萬餘の露兵と見るならんと云へり艦隊の增勢と云ひ兵備地の擴張と云ひ以て露國が東洋に意を用ふるの等閑ならざるを知るに足る可し而して一方に於て英國の挙動は如何と云ふに彼も亦勢力の擴張に汲々として他に一若干の艦隊を增派せり東洋の海域たる香港の如きは陸海軍の根據地にして其艦隊を改裝して其所に駐屯せり〳〵ならず其他に本年度新造の主戰艦五隻(等一隻、甲乙丙)は既に水を浅くしてスエス運河を自由に通過せしむ可き設計なりと云ふ蓋し一萬三千噸以上の主戰艦は吃水即ち艦底の水に入る深さ二十八九呎餘なるを常とす實際は二十六呎以内の吃水船に非ざれば差支なく通過するを得す)を通過するには搭載の石炭彈藥等を引卸して艦量を輕くするか然らざれば喜望峰を迂回せざる可からず又最近の報に據れば英は更らに三隻の大艦を在來の劣等の二艦を東洋艦隊に加へ其他四隻の大艦と交代せしむ可き豫定なりと云ふ若しも然るときは其艦隊の全勢力は九萬噸以上に達す可きなり レノーン、テリブル級は今年の夏竣成したる最新式の一等主戰艦にして東洋現在のセンチュリオンに比すれば排水量一千八百五十噸を超過せり又テリブル級は世界第一の巨大なる巡洋艦にして排水量一萬四千二百噸、速力二十二節その姉妹艦パワアーフルと共に當春竣工を告げたるが最初露國に於て大巡洋艦リューリック(現に東洋に在り)の製造計畫あるを聞き之に拮抗せんとて起工したるものなりしに今や双方共に東洋に派遣せられて日本近海に於て互に相睥睨せんとす邂逅自から奇なりと云ふ可し畢竟英露を始めとして世界の諸國が近來東洋艦隊の增勢に汲々たるは利害の關係遠切なるが爲めに互に其勢力を進めて互に平均を保たんとするに外ならざる可し其海表に國する日本國民たるものは常に此有樣に注目して自國自衛の用意片時も怠る可らざるものなり

○近衛師團演習從覽記 (十の續き)

十月二十日午前於久喜町　特派員　卷水生

第二種演習の統監たり小川少將閣下並に川村少將閣下は昨日幸手に來着し南北兩軍に對する特別方略を授け演習開始の順序を定めたり町内には追々宮内省員並に縣官郡吏等入り込み更に儀仗衛兵及び樂隊等到着せしため稔らしげに追躡して騷を廻る町民の混雜一方ならず樂隊長の手を上下して拍子を取る有樣を見て「大將樣と云ふものは何ぞ人を使ふに外ならざる可し」と云ふものなり何人となく手で號令を掛けると其通りに動くみと自分の手足を使ふと同んじみとだあの大將樣は月給はエクラ酢り取るだろうと樂隊長を視るみと將官よりも重し樂隊長も茲に至て餘癪ありと云ふ可し

行在所の修繕

行在所は幸手町の字幸手の中村元治氏方にて家屋の修繕を爲し夫々裝飾中なり町民は町の中央に繼門を設け各月日章旗を掲げて歡迎の意を表せんと欲せる丈けの力を盡し層れも我愛は洽道各村落の士民に向て夏に出ずる丈の力を盡して歡迎せんとを望ひものなり嗚呼我叡聖文武なる天皇陛下は茲に大義を廣嶋の行在所に進められ我國民を愛撫せんがため深く聖慮を煩はして士卒と甘苦を同うし給へり我國威の海外にまで發揚するに至るものは決して偶然に非ざるなり嗚呼四千餘萬の國民たるものは決して皇恩の大なるを忘る可らず我聖の軍に歡迎を歌ひ所なり

幸手町の光景

久喜停車場より幸手に至る道路を修繕し久喜町の中央に四門奏叉の繼門を立て歡迎の準備略整へり殊に第二の國民たる小學校の生徒は歡極りて拉かん許りに待ち設け居るなり

外國武官の縱覽

昨夜幸手町の師團司令部に縱覽を願ひたき旨申し來れり外國人は露國參謀大佐ニコラヤンヨー、同大尉サンイロープ、獨逸步兵中尉マインケ、英國步兵大佐サリトリース等にして其他朝鮮人等も追々に來觀する筈なり(十の終り)

○海底電線沈設船沖繩丸

大隅臺灣間の海底電信線沈設の爲め昨年我政府より英國に注文して新造したる沖繩丸は今春長崎に廻航し去る七八兩月中已に大隅琉球間の電線布設を了へ琉球臺灣間は冬期風波險惡の爲め暫らく工事を中止するみとゝなり去月以來横濱港内に碇泊中なるが遞信省所管内海底電線の新設並に修理工事の爲め本月末若しくは來月上旬を以て中國海に向け横濱を拔錨すべしと云ふ同船は船體を白色に塗り一見する所、加奈太郵船を稍々小にしたるが如く通常の汽船も外見更に異るとみゝわらざれども電線沈設の爲め特に製造されしだけ船内は特殊の點多く其前後三ケ處に設けある電線貯藏タンクは深海線、中間線、淺間線の三種電線三百海里分を容るべく若し其一種類のみなれば四百海里分を藏むるに難からず此タンクは長崎基隆等の陸上タンクに船躰を近接せしめ蒸氣を以て自由に電線を陸揚又は船積すべく又甲板上のテスチングルームなるものありて此には諸種の電氣器械を据付け外洋にて沈設工事に從事中も已設電線と貯藏電線を檢査して陸上と自由に通信すべく本船の前半部は殆んど電線沈設若しくは引揚げに要する諸器械を以て充たされ尙ほ舳部に備付けある數種の探海測量器并に夜間工事用電燈の如きは最近發明のものに係り其他乘組員の船室の如きも通常船舶のものよりは稍々大にして見るべきものあり總じて此種の船舶としては最も完備したるものにして模型は現今太西洋に於ける最新電信船に倣ひたるものにして東洋には上海に大北電信會社附屬の電線修復船一隻とシンガポールに英政府殖民地爲め船體小なるより我沖繩丸に比すべきにあらざれば蘇士以東には無雙の電信船と云ふべく尙ほ大隅琉球間の海底線布設工事は盡く我專門技師の手に成り新事業のみとして當局者の苦心一方ならざりしが些少の障害もなく工事を竣へたれば來春琉球臺灣間の工事は案外速に成工すべしと云ふ

しだら電 (七十五)

番庵生譯

第四十一回　製紙場(下)

各室の檢分を終りし後、ゾボレフスキイは己れの事務室に公爵其他を案内しぬ。マーチャが既に整理して置きたる後なれば室内の調度は秩然として怪しき處は更に見えざれども、前には固く鎖されしものが今は全く開放されしを見て公爵は深く怪みたる容子にて、『唯ッた今がたさで閉めておッたものが如何して開いとるかの？』

『はゝ、大方愚妻が衣物を着更へて居ッたのでをさいませう。』

『ふゥひ……』と公爵は四方を見廻はしながら安堵の態の憲兵に下知して、『其書類を取除けい、少と怪しい痕跡が有るぞる。――みれば奴も共謀者ぢや。』

ゾボレフスキイは驚かけて、公爵は驚かけて、來たなら留守の間だと吐いて甘く拔けやうと見なさい、顏色が青くなる。其間に憲兵は書箱を逢はず隣室に通ふ口を見つけ隣室に拔込み、『話』

ゾボレフスキイは、公爵は赫然として、『此奴を縛つて、隣室にて此時、隣室にては漢は表へ廻つて、胸壁を作れる最中なれば、みし鍵は不幸にも紙に敏捷ゝきコロレーフは鍵を拾ふ時、紙堆なりぬ。

大尉始め兵士は戶口めきぬ。リッァーノフ

コロレーフは漸く兵士を突破し公爵は堪らず表に

コロレーフは身に新たに來れる

コロレーフは身に

コロレーフは兵士を

ゾボレフスキイは此

ゾボレフスキイは

コロレーフは

『此間だ、此間に隣

ゾボレフスキイは

コロレーフは

『不可、不可、表に

コロレーフは焦つて

一歩に階子を

ゾボレフスキイは

ゾボレフスキイは

『ハイル、パドレ

二箇の繼人を

コロレーフは

コロレーフは

コロレーフは